

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	歯科口腔保健事業	事業番号	011-199
担当部署名	健康福祉 局 健康 部	健康医療推進 課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①健やかな生活習慣の形成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
		有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進			
3	事業開始年度	— 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	母子保健法・健康増進法・歯科口腔保健の推進に関する法律・堺市歯科口腔保健推進条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁・各区・関係団体等
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民(令和3年3月末 年齢別人口統計表) 829,924人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	心身の健康と質の高い日常生活が得られるよう、市民の口腔の健康の維持増進を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・80歳で20本以上の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」について、関係団体などと協力して各種の啓発活動を実施し推進を行う。 ・各保健センターにおいて、歯科相談、保健指導を行う。 ・堺市口腔保健センターにおいて、歯の健康相談・健康展を年2回開催し、歯科相談、歯みがき指導等を行い、歯と口の健康に関する正しい知識の普及や歯科疾患の早期発見をめざす。 ・堺市歯科口腔保健推進計画懇話会を開催し、学識経験者や保健医療専門職、市民等から意見の聴取を行い、進捗管理及び計画の見直し、策定を行う。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人堺市歯科医師会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合 (55～64歳) (成人の歯科相談)	%	目標値	80	80	80	80	
		実績値	78	78			
		達成率	98%	98%			
当該指標を選定した理由	歯科口腔保健推進計画の目標値						
目標値の設定根拠・算出方法	歯科口腔保健推進計画目標値						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
12 歯科相談・歯科健康教育・講座・健康展等の参加者数	人	目標値	10,500	10,500	10,500		
		実績値	9,694	2,508			
		達成率	92%	24%			
当該指標を選定した理由	歯と口の健康に関する正しい知識の普及を対面で行い、歯科疾患の早期発見をめざすため。						
目標値の設定根拠・算出方法	歯科口腔保健事業年報						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	歯科口腔保健事業	事業番号	011-199
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	6,074	5,848	5,727	3,395	5,698
13 財源内訳					
国支出金	682	682	682	253	893
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	5,392	5,166	5,045	3,142	4,805
14 人件費 (b)	3,820	3,790	3,860	3,860	3,860
15 年間経費(c)=(a)+(b)	9,894	9,638	9,587	7,255	9,558

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち 一般財源	項目	年度	事業費		うち 一般財源
		決算	予算				決算	予算	
16 事業費内訳	R2	医師報酬	182	182	印刷製本費	R2	182	182	
		R3	1,044	1,044		R3	170	170	
	R2	嘱託員報酬	0	0	通信運搬費	R2	6	6	
		R3	95	0		R3	21	21	
	R2	謝礼金	204	204	障害者等歯科口腔保健ネットワーク推進事業委託料	R2	2,444	2,191	
		R3	956	852		R3	2,970	2,392	
R2	普通旅費	0	0	会場借上料	R2	0	0		
	R3	37	0		R3	30	30		
R2	消耗品費	177	177	大阪口腔衛生協会負担金	R2	200	200		
	R3	175	96		R3	200	200		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 歯科相談・歯科健康教育・講座・健康展等の参加者数	人	9,694	2,508
② 上記①にかかる年間経費	千円	9,638	7,255
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	994	2,893
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のためイベント等の中止が相次ぎ対面で実施することができず、参加者数が少なかった。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大予防から各種事業等が中止となったが、働く世代への歯周病予防対策として媒体（チラシ）を作成し、乳幼児健診を活用した啓発活動を行った。 ・従来行ってきた対面での実施も継続しつつ、WEB等を活用するなど、今後も市民に広く周知する方法、対象を明確にした効果的な方策もさらに検討していく。 ・上記の事から、歯周病予防や口腔機能の維持向上の普及啓発を行うことで、早期の歯の喪失を防ぎ、嚥下機能も維持し、いつまでもおいしく安全に食べることや、誤嚥性肺炎の予防にもつながる。結果、健康寿命の延伸や、心身の健康の保持増進、生活の質の向上に重要な役割を果たしている。
----	---